

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 2 月 10 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471504179		
法人名	有限会社 シンライフ		
事業所名	グループホーム スマイル		
所在地	広島県福山市千田町2-33-23 (電話) 084-961-0206		
自己評価作成日	平成23年11月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471504179&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年11月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

挨拶などの礼儀を大切にし、利用者を社会の先輩として、尊敬、慈しみを持って接している。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームスマイル（以下、ホーム）は、新しい家が建ち並ぶ住宅街の一角に位置し、人通り、交通量が少ない静かな場所にあります。近くには障害者福祉施設や郵便局などがあります。ユニット間を自由に行き来することができ、ゆったりと自由な雰囲気です。 開設当初から勤務している職員が半数を占め、安定した運営をされています。毎日の朝礼で、代表者がホームの理念や運営方針を繰り返し話され、職員一人ひとりの認識が深まっています。代表者は、職員をホームの自慢に思われ、職員を信頼し、良いチームワークができています。 毎月の勉強会は職員主導で行われ、全職員が内容を把握できるように回覧や資料配布をされています。職員個々の到達目標、振り返りの機会も設けられています。 入居者の意向を尊重し、理念に沿った言葉かけや支援の姿勢で取り組まれていることの成果は、ホームの随所で聞こえた入居者の鼻歌から推察できました。
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	3項目の運営理念を掲げ、一つの指針を持つために毎朝朝礼にて唱和し、理念に沿った介護に努めている	「報恩・環境整備・礼儀」の理念は、朝礼時、代表者を含め全職員で唱和されています。「自分の親が入居者だったら」との思いで、言葉かけや支援をするように心がけておられます。また、対応について疑問等が生じた場合は、その場で注意を促すことのできる関係を築かれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣施設の行事参加や、公園掃除・春秋の清掃に参加し地域の方とのコミュニケーションを取れる環境作りをしている	町内会に加入するとともに、地域行事や清掃作業等に参加し、地域の人とコミュニケーションを図っておられます。また、ホームの入り口に手作りの掲示板を置き、行事の案内や訪問の呼びかけ等をされ、周辺を散歩する地域の人にとって、掲示物を読むことが、楽しみの一つになっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の参加を積極的にし、ホームの存在を知ってもらうとともに、ホーム内の行事を敷地入り口の看板に書き、いつでも参加していただけるようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	3ヶ月に一度の運営推進会議を開き、民生委員や地域包括支援センター、市職員の参加があり意見を交換しその内容を全職員に知ってもらうようにしている	家族、町内の組長、民生委員、地域包括支援センター職員、市担当者等が参加する運営推進会議が、2、3か月に1回開かれています。会議では、入居者の現状や行事の報告を行い、助言を得たり、意見交換をされています。災害対策について協議した際には、ホームの駐車場を地域の人に利用してもらうことを提案するなど、参加者とのつながりを築く努力をされています。また、会議録を職員で回覧し、内容を共有されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市や包括等の研修に参加し、日々のサービス向上に取り組んでいる	日頃から市担当者に連絡、確認しながら業務を進められています。地域包括支援センター等が開催する研修に参加し、情報交換されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束はマイナスを及ぼす事を職員全員に周知徹底し、拘束のないケアを実践しているが、離苑の可能性の高い利用者が不穏な場合、仕方なく玄関に施錠をしている</p>	<p>「身体拘束排除宣言」を策定し玄関に掲示されています。入居者の安全に考慮し、やむを得ず玄関を施錠されることがありますが、職員で対応について繰り返し検討し、家族に説明と承諾を得ておられます。入居者の行動につながる要因をその都度、話し合い、身体拘束ゼロを目指されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>フロアーにカメラを設置し、モニターにて24時間事故防止の注意を払っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部の勉強会等に参加して、持ち帰った知識をミーティングの時に発表し意見を交換している</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際は利用者、家族に重要事項を説明し不安や疑問点に対して十分な理解、納得を得るようにしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の日常の変化や要望を伝えるため家族の意見交換の場を設けているが、少数の家族の参加しか実現できていないため報告を込めて手紙や便りを送っている</p>	<p>アセスメント時に担当者が聞き取った内容を職員間で共有されています。「スマイルだより」を2か月に1回発行し、手紙と併せて家族に送付されています。家族の要望を直接聞く機会が少ないため、電話等で状況を伝える際に、聞き取る努力をされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>面談の回数を増やし、現場職員の率直な意見を聞いたり、ミーティングを開き意見交換の場を増やしている</p>	<p>年4回、代表者、事務長、ホーム長による個人面談を実施されています。面談では、職場でのポジションや個人の目標提案、成果の確認が主な内容ですが、意見交換の場にもなっています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表自ら、個人面談や現場の観察をしている。また、職員のモチベーションを下げないように先頭に立ってレクリエーションをしたり勉強会に参加している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社外研修の参加を積極的にしてもらうため、職員の閲覧できる場所に参加票を置いたり、ランダムに選考し参加してもらったり、向上心を持つ環境作りをしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の意見交換会がある時は、職員の1人は必ず参加するようにしている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>面談時より話しやすい雰囲気と考えるように努めています現場にも入りコミュニケーションに努め、暫定プラン(2W)に本人の要望を取り入れられるように関係づくりに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ホーム長と面談。家族の方から言いやすいような雰囲気になるように努め要望を伺っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談から得た情報に基づき暫定プラン作成するが、施設に慣れていただくことを前提で他のサービス利用は含めていない		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意思を尊重し集団生活において生活が成り立たない出来事に関しては本人にしっかりと説明しお互いにゆずり合える点を話し合っ共同生活が成り立つように努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人の祝い事を家族の方と共に行える環境を確保し職員も関わりを持つことで関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の協力を得て住んでいた家に帰ったり、お墓参りや親戚との関わりが途切れないように支援している	親戚や老人会のメンバー、友人が来訪されています。家族の協力により馴染みの場所等に外出されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で歌を歌ったり会話する場を作り、お互いのコミュニケーション能力が良い方向に行くように支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も、ご本人や御家族が来てくださり当時の話しをしたり入院されていれば面会にいき精神面でのフォローに努めている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の介護記録、センター方式の一部利用し利用者の方の意向を把握しようと生活の中の何気ない言動・観察・記録・コミュニケーションに努めている	意思表示をすることが難しい入居者には、表情や様子で思いを汲み取るよう配慮されています。センター方式（認知症の人のためのケアマネジメントシート）の様式の一つである「私の姿」を使い、何気ない会話を書き入れ、本人の思いを話し合われています。入居者と行動を共にし、コミュニケーションの中で、表情観察をするなど、把握に努められています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルに入所面接時に取り入れた情報をまとめた資料があり、いつでも閲覧ができるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者ひとりひとりの特徴や変化を詳細に記録し、現状の把握に努めている。表情・顔色をチェックし何かあればスタッフ間で意見や情報の交換をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリング1回/3ヶ月・センター方式の一部利用しケアスタッフ・本人・家族の意見を取り入れ1回/月ミーティング時に話し合い計画作成している。又、必要があれば主治医の意見も伺っている</p>	<p>月1回のユニット長会議と全体ミーティング、職員研修で、情報共有されています。担当者や介護支援専門員を中心に、モニタリング、カンファレンス、アセスメントを行い計画作成されています。必要に応じて、主治医に相談し、助言を介護計画に反映されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の状態、介護記録に記入その状態を元に各担当スタッフが1ヶ月の状態をグループホーム介護経過に記入しているので見直しに活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々生まれるニーズに対してホーム長に早期報告・指示をあおぎ、すぐ対応できるように連絡はとれている。連絡帳を利用し周知徹底している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員、ボランティア、地域の学校の行事等に係って生活している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間ごとにかかりつけ医の往診がある。緊急時にも24時間対応していただいている。他病院への紹介・予約もしていただいている</p>	<p>月2回、内科と歯科の往診があり、緊急性のある時は、かかりつけ医に電話で相談できるように体制が整っています。また、職員や家族の付き添いのもと、個別に通院されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	異常に気づいたらすぐに看護師に相談し処置、又は受診をし支援している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中は度々面会に行き精神面でのフォローに努め、又主治医や担当NS・ケアマネに相談しアドバイスを受けながら早期退院に向けて話し合っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	本人の意思確認ができなければ家族・主治医で話し合い本人にとって最良の方法での支援に努めている。運営推進会議でも看取りについて報告し、理解を得ている	終末期のあり方について勉強会を開催するとともに、欠席者にも資料を配布し、全職員で知識を共有されています。主治医と家族、ホーム長で話し合い、方針を決められています。事前に本人の意思を確認したうえで、家族をキーパーソンとし、主治医の協力を得て看取りをされています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	毎月勉強会を実施し、応急手当・初期対応について学び実践力を身につけている		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	職場で避難訓練を行ったり。消防訓練に参加し近くの公民館・農協・郵便局に挨拶をして協力を得られるようにしている	消防署の協力を得て、火災を想定した避難訓練が年1回実施されています。地域の消防訓練に参加され、近隣の公共施設に災害時の協力依頼をされています。	今後は、地域の人の参加や地元消防団の参加を得ることで、地域との関係をより深められることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は常に利用者ひとりひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉掛けをし対応している	プライバシー保護に関する勉強会を実施し、言われたくないことは言わない、言葉を変えて伝える工夫を話し合っておられます。入居者の人格を尊重することを心がけ、対応に疑問が生じた際には、その場で注意し、気づきを促されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	介助前(入浴や排泄)に声掛けにて意思確認を行っている。おやつ時の飲み物や1/Wのパン屋さんでの買い物時自己決定ができるように仰ぎかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ひとりひとりのペースに合わせて起床・食事・入浴の介助を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服の組み合わせを自分で分かる方は自分で選んでいただき季節に合った服装で快適に過ごしていただけるように支援している。毎月の出張、理美容サービスを利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	時には好きなメニューを聞いたり食材の下ごしらえを手伝ってもらい、好き嫌いに合わせて細かく食べやすいように調理している	入居者の好みを聞きながら各ユニットごとに献立を考え、調理されています。希望に応じて外食されることもあります。とろみをつけたり、小さく刻んだり、一人ひとりの状態に応じた工夫が行われています。職員は同じテーブルで一緒に食事をされています。また、入居者が下ごしらえや配膳、片付けと一緒にできるように配慮されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量のチェックと主治医をより水分量の計測を指示された利用者の方を記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアは必ず行なう。義歯は夜間洗浄剤にて保管する。うがい困難な方はガーゼにて清潔を保つ。口内炎の方への対応は特に気をつけて対応する		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェックを行い、各自のパターンを把握し見守り・介助を行う。座位が保てる方は、日中トイレにて排泄できるよう支援している	排泄チェックを行い，一人ひとりのパターンを把握し，誘導されています。できる限り座位をとり，排泄できるよう，腹部マッサージ等による支援をされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分補給や繊維質の食べ物を工夫し下剤を最終手段として管理している。困難者は毎日チェックし対応する。オムツ対応の方でもなるべくトイレに座って頂き排便できるよう支援している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	全員の希望に沿って入浴することは難しいが心地よく入浴していただけるよう配慮している。入浴拒否がある場合は、意思を尊重して日を変えたりして対応している	入浴は週2, 3回行われ，機械浴やシャワー浴等，一人ひとりの状態に合わせて対応されています。入浴を好まない入居者に対しては，声をかけるタイミングや職員を変えるなどの工夫をして支援されています。お風呂あがりに化粧をする入居者もおられ，入浴を楽しまれていることが伺えました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中はできるだけ離床し、外気浴・ラジオ体操・軽体操等をし心地よい疲労がもよおす中で眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時の注意事項に留意し管理している。きちんと服薬できているか薬箱と内服チェック表にて再度確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	手仕事の好きな方、歌を歌うのが好きな方、歌を聴くのが好きな方、各々の楽しみや役割の支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の方から要望があった時にはなるべく家族の方に協力を得て希望がかなえられるよう支援している	外出はドライブが中心となっています。散歩が難しい入居者についても、玄関先や駐車場に出て、外の空気に触れることができるよう配慮されています。また、家族の協力を得て、一緒に外出を楽しめるよう、働きかけを行っておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	毎週1回移動パン屋さんが来られており、その際好きなパンを選んでいただきお金は職員が払うが、値段を見て判断していたらいい。年1回の秋祭りには(スマイル通貨)を配布し好きな物を買っていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>自ら電話したいとの希望がある方に対してはいつでも話をして頂くように支援している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感を感じていただけるよう、一緒に壁画作りや入居者のご家族から頂いた季節の野菜と一緒に調理したり季節感を感じていただけるよう支援している。ひとりひとりの聴力に応じての会話はトーンを配慮している</p>	<p>手作りの季節の壁画を飾るなど、温かい雰囲気づくりに取り組まれています。トイレやお風呂にも手作りの看板を掛け、場所を分かりやすくする工夫をされています。リビングには畳のコーナーがあり、お昼寝や洗濯物をたたむ場所になっています。車椅子の人が移乗できるようソファを置くなどの工夫もされています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>独りになりたい方はいつでも好きな時に居室に戻っていただいている。気のあった利用者同士の方はいつでも話しができるよう隣同士に座っていただくこともある</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していたタンスや衣類、家族の写真を持ってこられ安心して過ごしていただけるように工夫している</p>	<p>居室は、ベッドとタンスが備え付けとなっています。自由に飾りつけをして個性のある部屋づくりをしておられます。位牌や家族の写真を置いたり、人形を持ってこられている入居者もおられます。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>要所に手すり、浴室にはシャワーベンチ、便座にはウォシュレットにて身体機能の低下にあわせ安全を図る支援をしている</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	3項目の運営理念を掲げ、一つの指針を持つために毎朝朝礼にて唱和し、理念に沿った介護に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣施設の行事参加や、公園掃除・春秋の清掃に参加し地域の方とのコミュニケーションを取れる環境作りをしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の参加を積極的にし、ホームの存在を知ってもらうとともに、ホーム内の行事を敷地入り口の看板に書き、いつでも参加していただけるようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	3ヶ月に一度の運営推進会議を開き、民生委員や地域包括支援センター、市職員の参加があり意見を交換しその内容を全職員に知ってもらうようにしている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市や包括等の研修に参加し、日々のサービス向上に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束はマイナスを及ぼす事を職員全員に周知徹底し、拘束のないケアを実践しているが、離苑の可能性の高い利用者が不穏な場合、仕方なく玄関に施錠をしている</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>フロアにカメラを設置し、モニターにて24時間事故防止の注意を払っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部の勉強会等に参加して、持ち帰った知識をミーティングの時に発表し意見を交換している</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際は利用者、家族に重要事項を説明し不安や疑問点に対して十分な理解、納得を得るようにしている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の日常の変化や要望を伝えるため家族の意見交換の場を設けているが、少数の家族の参加しか実現できていないため報告を込めて手紙や便りを送っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>面談の回数を増やし、現場職員の率直な意見を聞いたり、ミーティングを開き意見交換の場を増やしている</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表自ら、個人面談や現場の観察をしている。また、職員のモチベーションを下げないように先頭に立ってレクリエーションをしたり勉強会に参加している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社外研修の参加を積極的にしてもらうため、職員の閲覧できる場所に参加票を置いたり、ランダムに選考し参加してもらったり、向上心を持つ環境作りをしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の意見交換会がある時は、職員の1人は必ず参加するようにしている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>面談時より話しやすい雰囲気と考えるように努めています現場にも入りコミュニケーションに努め、暫定プラン(2W)に本人の要望を取り入れられるように関係づくりに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	ホーム長と面談。家族の方から言いやすいような雰囲気になるように努め要望を伺っている		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	面談から得た情報に基づき暫定プラン作成するが、施設に慣れていただくことを前提で他のサービス利用は含めていない		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	本人の意思を尊重し集団生活において生活が成り立たない出来事に関しては本人にしっかりと説明しお互いにゆずれ合える点を話し合っ共同生活が成り立つように努力している		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	本人の祝い事を家族の方と共に行える環境を確保し職員も関わりを持つことで関係を築いている		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	家族の協力を得て住んでいた家に帰ったり、お墓参りや親戚との関わりが途切れないように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士で歌を歌ったり会話する場を作り、お互いのコミュニケーション能力が良い方向に行くように支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も、ご本人や御家族が来てくださり当時の話しをしたり入院されていれば面会にいき精神面でのフォローに努めている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の介護記録、センター方式の一部利用し利用者の方の意向を把握しようと生活の中の何気ない言動・観察・記録・コミュニケーションに努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルに入所面接時に取り入れた情報をまとめた資料があり、いつでも閲覧ができるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者ひとりひとりの特徴や変化を詳細に記録し、現状の把握に努めている。表情・顔色をチェックし何かあればスタッフ間で意見や情報の交換をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリング1回/3ヶ月・センター方式の一部利用しケアスタッフ・本人・家族の意見を取り入れ1回/月ミーティング時に話し合い計画作成している。又、必要があれば主治医の意見も伺っている</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の状態、介護記録に記入その状態を元に各担当スタッフが1ヶ月の状態をグループホーム介護経過に記入しているので見直しに活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時々生まれるニーズに対してホーム長に早期報告・指示をあおぎ、すぐ対応できるように連絡はとれている。連絡帳を利用し周知徹底している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員、ボランティア、地域の学校の行事等に係って生活している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間ごとにかかりつけ医の往診がある。緊急時にも24時間対応していただいている。他病院への紹介・予約もしていただいている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	異常に気づいたらすぐに看護師に相談し処置、又は受診をし支援している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中は度々面会に行き精神面でのフォローに努め、又主治医や担当NS・ケアマネに相談しアドバイスを受けながら早期退院に向けて話し合っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	本人の意思確認ができなければ家族・主治医で話し合い本人にとって最良の方法での支援に努めている。運営推進会議でも看取りについて報告し、理解を得ている		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	毎月勉強会を実施し、応急手当・初期対応について学び実践力を身につけている		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	職場で避難訓練を行ったり。消防訓練に参加し近くの公民館・農協・郵便局に挨拶をして協力を得られるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は常に利用者ひとりひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉掛けをし対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	介助前(入浴や排泄)に声掛けにて意思確認を行っている。おやつ時の飲み物や1/Wのパン屋さんでの買い物時自己決定ができるように仰ぎかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ひとりひとりのペースに合わせて起床・食事・入浴の介助を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服の組み合わせを自分で分かる方は自分で選んでいただき季節に合った服装で快適に過ごしていただけるように支援している。毎月の出張、理美容サービスを利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	時には好きなメニューを聞いたり食材の下ごしらえを手伝ってもらい、好き嫌いに合わせて細かく食べやすいように調理している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量のチェックと主治医をより水分量の計測を指示された利用者の方を記録している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアは必ず行なう。義歯は夜間洗浄剤にて保管する。うがい困難な方はガーゼにて清潔を保つ。口内炎の方への対応は特に気をつけて対応する</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェックを行い、各自のパターンを把握し見守り・介助を行う。座位が保てる方は、日中トイレにて排泄できるよう支援している</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分補給や繊維質の食べ物を工夫し下剤を最終手段として管理している。困難者は毎日チェックし対応する。オムツ対応の方でもなるべくトイレに座って頂き排便できるよう支援している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>全員の希望に沿って入浴することは難しいが心地よく入浴していただけるよう配慮している。入浴拒否がある場合は、意思を尊重して日を変えたりして対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中はできるだけ離床し、外気浴・ラジオ体操・軽体操等をし心地よい疲労がもよおす中で眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時の注意事項に留意し管理している。きちんと服薬できているか薬箱と内服チェック表にて再度確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	手仕事の好きな方、歌を歌うのが好きな方、歌を聴くのが好きな方、各々の楽しみや役割の支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の方から要望があった時にはなるべく家族の方に協力を得て希望がかなえられるよう支援している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	毎週1回移動パン屋さんが来られており、その際好きなパンを選んでいただきお金は職員が払うが、値段を見て判断していただいている。年1回の秋祭りには(スマイル通貨)を配布し好きな物を買っていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自ら電話したいとの希望がある方に対してはいつでも話をして頂くように支援している		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感を感じていただけるよう、一緒に壁画作りや入居者のご家族から頂いた季節の野菜と一緒に調理したり季節感を感じていただけるよう支援している。ひとりひとりの聴力に応じての会話はトーンを配慮している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	独りになりたい方はいつでも好きな時に居室に戻っていただいている。気のあった利用者同士の方はいつでも話しができるよう隣同士に座っていただくこともある		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使用していたタンスや衣類、家族の写真を持ってこられ安心して過ごしていただけるように工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	要所に手すり、浴室にはシャワーベンチ、便座にはウォシュレットにて身体機能の低下にあわせ安全を図る支援をしている		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム スマイル

作成日 平成 24 年 2 月 29 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策についての訓練や火災以外の災害についての認識がうすい。	あらゆる災害を想定し, あわてずに行動・誘導できるようになる。	①地区の消防団に当施設の状況を伝えておく。	1か月
2	〃	〃	〃	②地震, 水害, 火災等の避難訓練を行い, あわてずに行動できるようにする。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。